

## □ トピック □ 湿気に注意！

しばしば大量発生し、ダニと間違われたりして問題になる虫の一つに、チャタテムシという虫がいます。ざっくり分けると有翅のヒメチャタテ科と無翅のコナチャタテ科(以下コナチャタテ)が代表的で、湿気や結露が多い所で見られるのはヒメチャタテ科が多く、少ない所でみられることが多いのは無翅のコナチャタテです。体長はコナチャタテの多くが1~2mm、ヒメチャタテの多くは3~7mm程度の小さな虫です。

コナチャタテは、高湿度で結露の少ない場所の木製品やダンボール、書籍などに多く潜伏し、屋内環境であればおおよそどこでも生息している虫です。気温が高ければ年中みられますが、8月ごろに増加のピークを迎える傾向があります。カビやカビの胞子を含む目に見えないような細かな有機物餌にします。環境が合うとそれに伴ってコナチャタテが爆発的に発生することもあります。雨の日が続いた時などは、湿気や結露によってカビが発生しやすい条件となりやすいため、カビの発生しやすい場所は特に注意する必要があります。上記のようにこれから秋にかけては増殖のシーズンでもあるので、コナチャタテが発生する前にしっかりと予防対策をしておきましょう。



ヒラタチャタテ: 相対的に大きな頭と小さな眼が特徴。茶を点てるような音を出すことからこの名が付いたといわれる。

## □ お知らせ □ チャタテムシ防除

ではコナチャタテの発生を防ぐには、どうしたら良いのでしょうか。

対策としては、コナチャタテの餌となるカビが発生しにくい、低温低湿で埃の無い清潔な環境を作っていくことが大切になります。理想としては、対象エリアは全て湿度は60%以下を維持し、発生源となるカビの発生を防ぐことが抑制には重要です。またコナチャタテの多くは、10℃以下ではほとんど発育することができず、15℃以下でもかなりの発育抑制効果があります。現実的には工場全体を15℃前後に維持するのは容易ではありませんが、チャタテムシの発生しやすい場所だけでも低温管理することが出来れば、コナチャタテだけでなく、他の屋内発生虫の抑制にも効果があります。ただし、コナチャタテと近縁なコチャタテ科は低温倉庫で大発生する事例も多くあるため油断は出来ません。

コナチャタテの発生源が特定できている場合は、エアゾールなどを直接噴霧しての殺虫処理と、発生場所の清掃を行います。隙間は、コーキング剤などで閉塞して根本的に埃や残渣が溜まりにくい構造にします。発生源がわからない場合には、床周りの残留処理や、燻煙剤や炭酸ガス製剤などを使用し、屋内全体を殺虫処理するのが効果的です。また、殺虫剤が使用できない場所では、アルコールの噴霧で対応することも出来ます。気になることがありましたら、ぜひお気軽にご相談ください。

## □ 豆知識 □ 17年に一度の大合唱

そろそろセミの鳴き声が聞こえてくる季節ですが、アメリカには、特定の周期で大発生するセミの仲間、周期ゼミというものがいます。この周期ゼミの仲間は、アメリカのみに分布し、一生の99.9%を地中で幼虫のまま木の根の汁を吸って生活し、ぴったり17年または13年かけて成虫になります。そして、特定の夏に地上に一斉に現れ、10日ほどで寿命を終えて死んでしまうという非常に興味深い生活史を持っています。

羽化の時期になると、1本の樹の根元から4万匹以上の成虫が羽化し、その鳴き声はジェット機のエンジン音に匹敵するほどの音にもなるそうです。その性質から17年ゼミ・13年ゼミや、17・13がそれ自身と1以外で割り切れない素数であることから、素数ゼミとも呼ばれています。

一説によると、両者が比較的大きな素数で発生を繰り返すのは、13年ゼミと17年ゼミが交雑する可能性を最小限にするためというのが有力とされています。しかし17年または13年に一度しか現れず、しかも素数である本当の理由はまだ誰にもわかっていません。



17年ゼミの成虫



大量の抜け殻



総合衛生コンサルタント・生物害防除

東洋産業株式会社

URL: <http://www.to-yo-s.co.jp>

本社: 岡山県岡山市北区新屋敷町3-19-20

TEL(086)241-8080 FAX(086)241-8094

拠点: 大阪, 姫路, 岡山, 倉敷, 福山, 広島, 高松, 松山

関東(市川)